

令和6年5月17日

大仙市議会議長 古谷 武美 様

オーガニック学校給食を進める会

代表 石橋 小夜子

伊藤 明子

井坂 智

大山 かほり

佐藤 菜穂子

高橋 希美

深澤 智史

古屋 睦子

林 沙百合

松本 さとり

## 学校給食にあきたこまち R 以外の地産米提供を求める陳情書

## 〔陳情事項〕

食によるアレルギー反応を起こす子どもが多くいる中、アレルギー反応を起こす懸念があるあきたこまち R をあきたこまちとして表示し、周知されることなく学校給食で提供することに不安を感じる。学校給食では個々に合わせたアレルギー対応が成されていることから、あきたこまち R を提供することに慎重な対応を求める。動物実験による安全性の実証が行われていない未知の米に対して詳しい説明がないまま一律にあきたこまち R が提供されることは、消費者(保護者に対して)の知らされる権利と選ぶ権利が守られていない。

## 〔陳情理由〕

分子生物学者の河田昌東さんいわく、あきたこまち R は放射線で破壊されたコシヒカリ環1号の OsNramp5 という遺伝子を引き継いでおり、分子生物学上、放射線育種米であるという。動物実験もされていなく、安全性の実証はない。ましてや食べ続けた人間に対する臨床データもないため、身体にどのような影響が起こるか明らかではない。

あきたこまちRはカドミウムだけでなく、必須微量元素のマンガンも吸収しにくくなる。それにより染色体異常が起き、本来なかったタンパク質をつくる可能性がある。さらにアミノ酸配列が変わることも、アレルギー反応を起こす懸念がある。マンガンは植物や子どもの成長に欠かせないミネラルである。マンガン不足による長期的な健康被害にも懸念がある。

以上の点から、学校給食という全児童・生徒がほぼ毎日食べる主食に、アレルギー反応を起こす懸念があるあきたこまち R を提供することは控えてほしい。

